



あびこ ひろまさ  
我孫子 洋昌 議員

## 第2期SDGs未来都市計画の 実現性を高めるには

町長 進捗状況の情報発信を行い、町民の理解を深めます

### 第2期SDGs未来都市 計画

**質問** ①改めて、本計画に  
取り組む理由を伺います。

**町長** SDGsは、町の理  
念、取り組みと共通性・親  
和性が高いものと考えます。

**質問** ②第1期の事業項目  
のうち、第2期で削除され  
た「ダイバーシティ社会推  
進」などは、将来ビジョン  
の達成に必要な無かったの  
でしょうか。

**町長** 今回の計画改訂にあ  
たり、掲載事業を整理した  
ため、必要が無いという  
ことではありません。

**再質問** 多様性の確保とい  
う点で、役場の中で女性人  
材の登用に向けた取り組み  
や条件整備について、何か  
手掛けていますか。

**町長** 男女をあまり区別せ  
ずに能力の向上を均一に図  
る結果として、昇級あるい  
は昇格につながるのではな  
いかと思います。

また、多様な考えを取り  
入れ、施策に反映すること  
が不可欠ではないかと思

ます。

**質問** ③本計画を着実に実  
現するため町民とのコミュ  
ニケーションについて伺  
います。

**町長** 町民主体の活動の促  
進と支援を行うとともに、  
あらゆる機会において事業  
の進捗状況等について情報  
発信を行い、理解を深め、  
SDGsを取り入れたまち  
づくりの気運醸成に努めま  
す。

**再質問** ここ数年「下川ブ  
ランド」という言葉を目に  
するが、端的に言うのと、ど  
ういったものと考えていま  
すか。

**町長** SDGsの思想や理  
念が生活や経済の中にどの  
ように結びついているのか  
を、町がしっかりと発信し  
ていくことで、ブランド力  
の高さにつながると思います。  
環境やエネルギーという  
早くからの取り組みをベ  
ースにしながら、SDGsの  
取り組みを最優先にしたい  
と思っております。

### 役場庁舎と消防庁舎の老 朽化

**質問** 耐用年数を迎えた公  
共施設、特に役場庁舎と消  
防庁舎の安全性や新庁舎の  
整備の可能性について伺  
います。

**町長** 役場庁舎は昭和49年  
建設、耐用年数は残り3年  
で、消防庁舎は昭和45年建  
設で耐用年数を過ぎており  
ます。役場庁舎については、  
令和元年3月に耐震診断を  
行わないと判断し、計画的  
な修繕で庁舎機能を維持し  
つつ、建て替えまたは移転  
の方向で検討していますが、  
具体的な時期は未定です。

消防庁舎も併せて検討する  
方向です。

**再質問** なぜ、耐震診断を  
行わないと判断したのでし  
ょうか。

**副町長** 耐震診断は、耐震  
化工事が前提になると思  
います。耐震化工事をするに  
は老朽化が激しいため、そ  
れよりは、修理をしながら  
使った上で、いずれは建て  
替え、若しくは移転を考え

た方がいいだろうというこ  
とで、耐震化は行わないと  
いう判断をしました。

### 地域共育ビジョンと人材育成

**質問** 地域教育ビジョンに  
ついて、新年度からの推進  
方針と推進施策を伺います。

**教育長** 幅広い地域住民等  
の参画を得て、「地域学校協  
働活動」を推進します。地域  
と学校が連携・協働し、地  
域の将来を担う人材育成を  
図るとともに、自立した地  
域社会の基盤の構築・活性  
化を図る「学校を核とした  
地域づくり」を推進します。

既に小中高校において、  
児童生徒が地域課題につ  
いて学び、解決策を発表す  
るといった取り組みが実施さ  
れております。

**再質問** 地域の将来を担う  
人材育成という観点で、例  
えば北の森づくり専門学院  
への進学者への奨学制度を  
設ける計画はありますか。

**教育長** 現段階では、ちよ  
つと踏み切れる状況にはあ  
りません。